

豊岡市但東町 高橋地区 地域づくり計画 2020

ふるさと
みんなの故郷 高橋のために



平成 26 年 (2014 年) 2 月

高橋振興対策協議会

『高橋地区地域づくり計画2020』の策定にあたって

高橋振興対策協議会は、昭和 53 年の設立以来、高橋地区の地域活性化の促進と、豊かな自然、歴史、文化遺産などの再発見及び地域住民のふるさとづくりや、心豊かなまちづくりをめざして活動してきました。

また、兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」の認定を受けて、平成 22 年 3 月に「高橋地区ふるさと自立計画」を策定し、高橋ふれあい市などの取り組みを進めてきたところです。

そして平成 25 年 5 月には、高橋振興対策協議会自身が取り組みの先導に就き、より一層地域振興の取り組みを加速させるべく、組織体制及び役員構成の再編を実現したところです。

そこで高橋振興対策協議会では、高橋地区ふるさと自立計画に示された 5 年後、10 年後の高橋の将来を見据えつつ、この新しい実行体制の下で自立し自律した地域づくりを確実に進めるための指針が必要と考え、平成 25 年 10 月より新たな「高橋地区地域づくり計画」の策定作業を進めてまいりました。

これまで 5 回のワークショップと説明会を開催し、その成果として高橋地区地域づくり計画 2020 を、今ここにまとめることが出来ました。

高橋地区で暮らす私たちは、5 年後、10 年後、老いも若きもみんなが手を携えて楽しく、明るく、笑いながら、仲良く暮らしていける故郷のために、今、しなければならぬことに取り組んでいかなければなりません。そのためには、みんなで話し合い、みんなの知恵を借りながら、助け合い、励まし合いながら、地区住民全体で高橋を元気にしなければなりません。

今後とも「みなさんと一緒にこの高橋で生きていくことに誇りと希望が持てる」そんな高橋地区にするために関係各位の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成 26 年 2 月

高橋振興対策協議会
会長 田 口 保

－目次 contents－

Page

第1章 基本的な事項

1. 高橋地区地域づくり計画の策定について ----- 1
2. 高橋地区地域づくり計画の対象範囲 ----- 3

第2章 高橋地区の現状と問題点・課題

1. 地域の概況とこれまでの取り組み ----- 5
2. 高橋地区における地域づくりの問題点・課題 ----- 11
3. 豊岡市総合計画における但東地域の位置づけ（総合計画の概要） ----- 12

第3章 高橋地区の将来像

----- 13

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

----- 15

第5章 率先して取り組む内容 (リーディング・プロジェクト)

----- 17

第6章 今後の進め方

----- 23

参考資料 ----- 25

第1章 基本的な事項

1. 高橋地区地域づくり計画の策定について

(1) 高橋地区地域づくり計画策定の背景と目的

高橋地区では、地域が主体となったふるさとづくりを推進するために、高橋振興対策協議会を設置し、様々な取り組みを行ってきました。さらには、スポーツクラブ21や高橋地区活性化委員会、集落サポーター等の各種団体、構成員が積極的に地域づくりを担ってきました。このような中で、より一層、高橋振興対策協議会自身が地域づくりの主体となるべく、平成25年5月に組織ならびに役員構成を再編し、より実践的な組織体制へと生まれ変わりました。

この計画は、高橋振興対策協議会がふるさとづくりについて今まで以上に中心となって考え、自ら行動するための指針として策定したものです。

今後、高橋地区では、この地域づくり計画の下、住民ならびに高橋振興対策協議会が主体となって自分たちの生活圏である身近な地域の課題を解決し、地区住民のニーズに応じたきめ細やかなふるさとづくりを推進していくこととなります。

(2) 高橋地区地域づくり計画策定の手順（検討ワークショップスケジュール）

高橋地区地域づくり計画の策定にあたっては、高橋振興対策協議会顧問の支援を受けながら、平成25年10月以来、ほぼ週1回のペースで合計5回のワークショップと検討会議を重ね（説明会1回追加開催）、内容を取りまとめました。



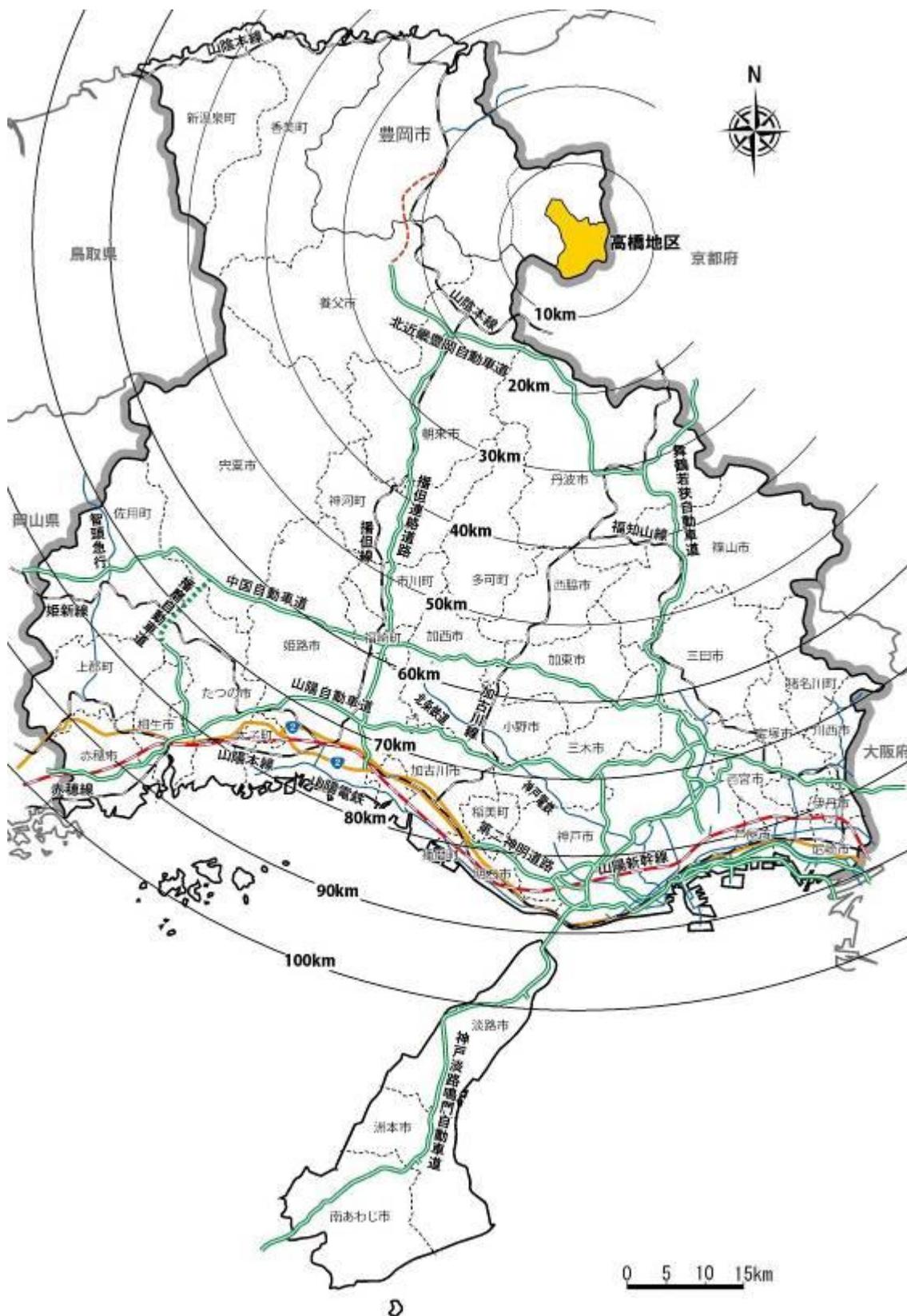


□高橋地区地域づくり計画検討ワークショップ 開催スケジュール

第1回 10/23 (水) 19:00~21:00 高橋公民館	地域づくり計画の必要性とWSの目的の共有 【まちづくり推進母体としての意識共有】 参加者27名
第2回 10/30 (水) 19:30~21:30 高橋公民館	持続可能な地域づくりのための事業位置づけ整理 【全地区横断的なまちづくり活動の体系整理】 参加者24名
第3回 11/7 (木) 19:30~21:30 高橋公民館	まちづくり活動の優先順位と活動プログラム検討その1 【具体的なまちづくり活動の企画①】 参加者24名
第4回 11/20 (水) 19:30~21:45 高橋公民館	活動プログラム検討その2 実施体制の検討その1 【具体的なまちづくり活動の企画②】 参加者18名
第5回 11/27 (水) 19:30~22:30 高橋公民館	活動プログラム検討その3 実施体制の検討その2 【具体的なまちづくり活動の企画③】 参加者33名
検討内容説明会 12/16 (月) 19:30~21:00 高橋公民館	『高橋地区地域づくり計画』骨子の内容確認 【振対協としての持続的なまちづくり活動推進に向けた新たな決意】

2. 高橋地区地域づくり計画の対象範囲

高橋地区地域づくり計画は、正法寺、平田、栗尾、佐田、久畑、後、東中、小坂、大河内、薬王寺の高橋小学校区内全10集落を対象としています。



第2章 高橋地区の現状と問題点・課題

1. 地域の概況とこれまでの取り組み

(1) 地域の概況

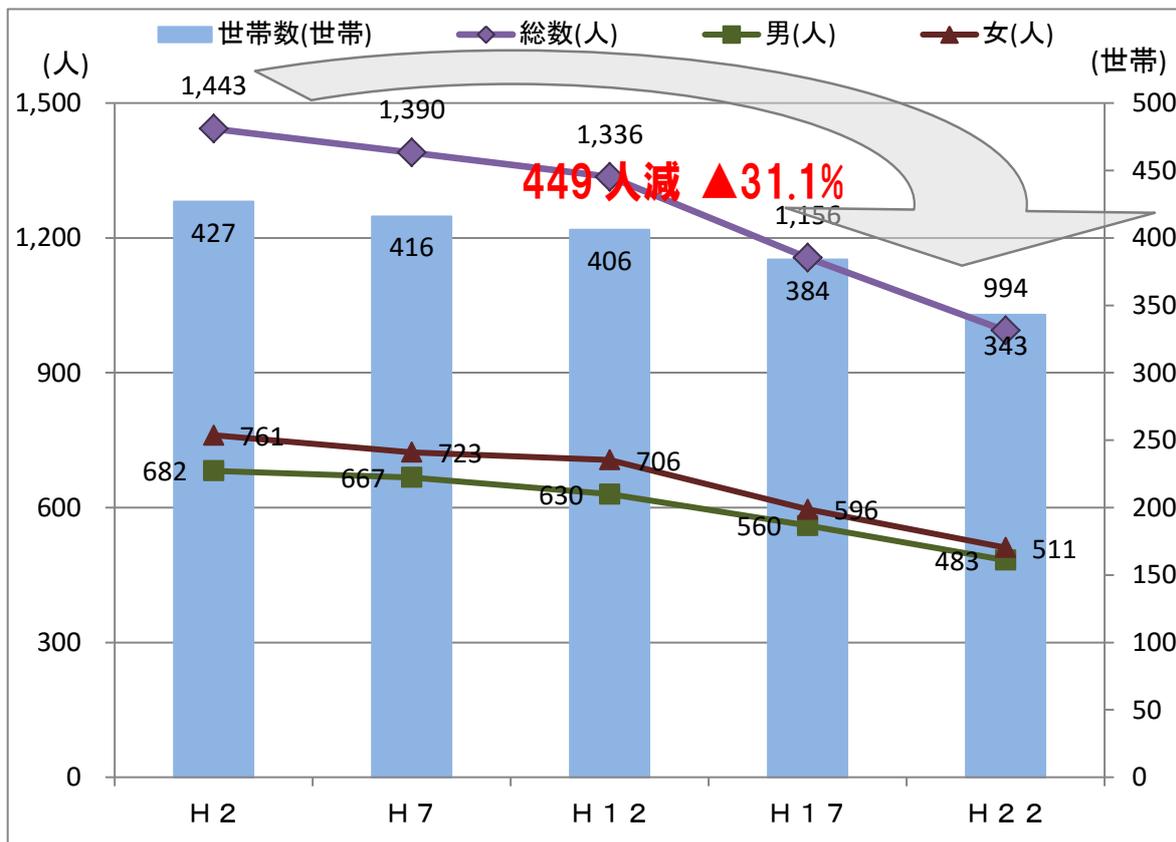
- ・豊岡市の東端、京都府福知山市との境界、出石川の源流部に位置する農山村地域で、田んぼ（棚田）や里山（江笠山の眺望等）の農村風景が美しい状況です。
- ・現在は地域内に10集落が存在しています。しかし、若者の流出が進み、将来的な集落の維持が懸念されます。
- ・公共交通は、但東町の中心部である出合に繋がる市営コミュニティバス・inacar（イナカー）河野辺線（薬王寺⇄合橋小学校）が主な地域の足です。その存廃が検討された平成21年には、高橋振興対策協議会においても、このイナカー存続運動を展開し、維持存続することとなりましたが、現在1日6本程度で、しかも土日運休の便もあるほか、豊岡市街地へは出合から出石に出て、出石で一旦、豊岡方面への路線バスに乗り換える必要があり、地域の足としては不便と言わざるを得ません。
- ・国道426号が地区を縦断し、舞鶴自動車道福知山I.C.、国道9号経由で神戸から約2時間の距離にあります。沿道に幾つかの商業施設（旬の里のぼりお、味蔵たんとう、あさみせ、百笑館等）が立地していますが、買い物等の利便性は低下しつつあります。このような中で、平成25年にガソリンスタンド（JAアクロス高橋給油所）が再び出店しました。
- ・但東シルク温泉やまびこ、シルクドーム、兵庫県子ども自然村といった観光、レクリエーション施設があります。
- ・農業の兼業化や高齢化による人手不足で、稲作等の農作業・維持活動等の労働力確保が課題となっています。
- ・森林の荒廃や耕作放棄地の問題、多発するイノシシ、シカ、クマ等の獣害に悩んでいます。
- ・高橋小学校、高橋幼稚園・保育園（認定子ども園）がありますが、児童の減少により、今後の子どもたちへの教育環境が問題となっています。
- ・大生部兵主神社、新宮神社、楽音寺、乗専寺などの歴史・文化資源が数多くあるほか、城跡も地区内各地に存在しています。
- ・経済的自立だけでなく、地域の自律が大きな課題となっています。



(2) 人口・世帯数の推移

人口は年々減少してきており、平成 22 年（国勢調査データ）では 994 人と、初めて 1,000 人を下回りました。世帯数も減少傾向にあり、平成 22 年では 343 世帯となっています。

かつては 1,500 人近くあった人口も、この 20 年近くの間には 3 割以上減少しており、少子高齢化が一層進展していることがうかがえます。（※巻末に集落別の人口・世帯数の推移を掲載）



(3) 地域におけるこれまでの取り組み

- ・「兵庫県ふるさと自立計画推進モデル事業」による計画策定
 平成 21 年 10 月から着手し、ワークショップを 7 回、発表会を 1 回開催し、この計画の前身となる「高橋地区ふるさと自立計画」を策定しました。
 平成 25 年 12 月の開催で 4 回目となった「高橋ふれあい市」等の取り組みは、このふるさと自立計画の策定がきっかけとなっています。
- ・「兵庫県小規模集落元気作戦」（薬王寺）、「兵庫県むらの将来検討支援事業」（小坂）
 兵庫県の地域再生大作戦の一つである「小規模集落元気作戦」に、薬王寺集落が平成 20 年から取り組み平成 23 年 3 月にモデル事業を終了しました。
 その後は、自主的な都市農村交流活動として、田んぼオーナー制度を継続して実施しています。
 小坂集落は、「むらの将来検討支援事業」に平成 23 年秋から着手し、古民家なかやでの積極的な地域活動の展開に繋がっています。

- 「高橋ふれあい市」の開催
 - 第1回 2010年12月25日(土)
 - 第2回 2011年12月10日(土)
 - 第3回 2012年12月16日(日)
 - 第4回 2013年12月14日(土)

- 「高橋ふるさと探訪」の開催
 - 第1回 2013年10月6日(土)



高橋ふれあい市 (H25.12)



高橋地区大運動会 (H25.9)



高橋ふるさと探訪 (H25.10)



高橋ふるさと探訪 (H25.10)

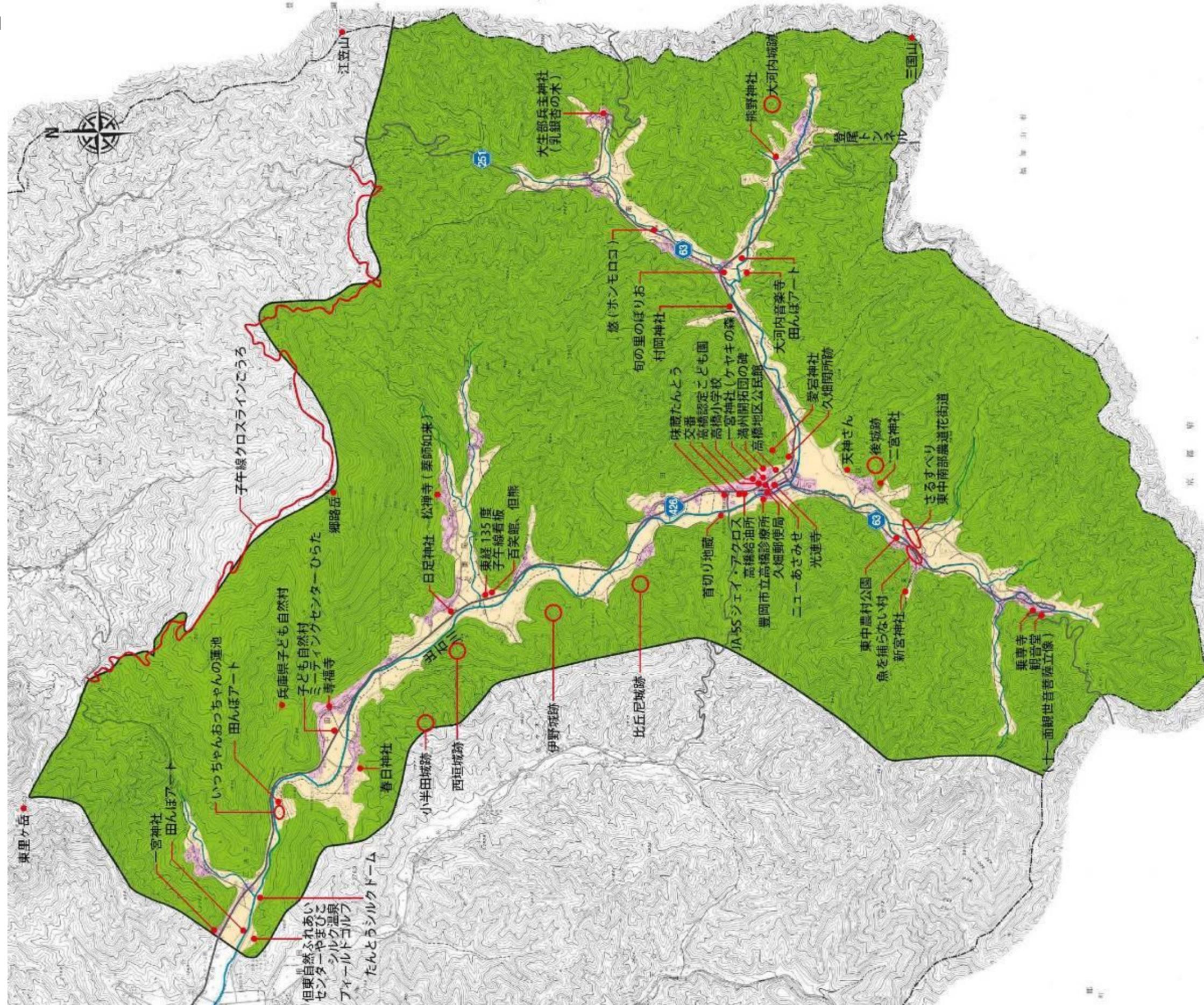


JAアクロス給油所オープンイベント (H25.7)



高橋小学校芝生植栽 (H25.6)

地域資源状況図



2. 高橋地区における地域づくりの問題点・課題

高橋地区では、地域の状況やこれまでの取り組み経過などから、地域づくりにおいて、以下のような課題があると考えています。

今後は、これらの問題や課題を解消するために、様々な取り組みを加速させていく必要があります。

①少子・高齢化社会への対応

②地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取り組みの促進

③地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み

④美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実

⑤地域産業の活性化

⑥地域づくり活動の財源確保と実行体制の早期確立

⑦地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上

3. 豊岡市総合計画における但東地域の位置づけ（総合計画の概要）

【基本理念ーいのちへの共感】

■命は限られている ■命はつながっている ■命は支え合っている

【将来像とキャッチフレーズ】

「コウノトリ悠々と舞う ふるさと」

但東地域の「地域づくりに向けた基本方針」

『豊かな自然・風土に向き合い、人々が育んだ恵みを生かし、訪れる人が“温もり”を実感できる地域づくりを進めます。』

- ・グリーンツーリズム事業
- ・生きる力を育む教育の推進
- ・自然を生かした地域づくり事業
- ・文化施設を活用した交流の推進

第3章 高橋地区の将来像

高橋地区では、平成21年のふるさと自立計画策定の際に、4つの将来像をとりまとめました。ふるさと自立計画策定から3年が経過していますが、地区の実情はそれほど大きくは変わっていない状況です。そこで、この計画に位置づける将来像についても、ふるさと自立計画で掲げた将来像を踏襲することとし、今後も引き続き、この将来像を実現するために、様々な取り組みを展開していくこととします。

【高橋地区の将来像その1】

私たちが暮らす“高橋地区”は、

集落では………都会からの移住者やUターン者が多く、空き家はありません。
小学校では………子どもが120人を超えてにぎやかです。
田畑では………荒廃農地がなく、鹿もいず、高齢者が楽しく作物や花を作っています。
国道沿いでは………あちこちに直売所や見処、食処があり、素通りする車がありません。
人の集まる場所では…不平不満を口にせず、助け合い楽しく穏やかに暮らせるよう

なところだったらいいな…

【高橋地区の将来像その2】

私たちが暮らす“高橋地区”は、

キリが少なく、太陽の恵みをいっぱい受け、自然豊かで、若者たちや家族が、健康で元気よく住め、農産物などP・B商品があり、人と人との交流も盛ん

なところだったらいいな…

【高橋地区の将来像その3】

私たちが暮らす“高橋地区”は、

**職場がたくさんできて、安定収入があり
若者が高橋に残り、子どもが多く有り
高橋全体の活気ができる**

なところだったらいいな…

【高橋地区の将来像その4】

私たちが暮らす“高橋地区”は、

**地域の住民が元気で
住みやすさ、居心地の良さをアピールして
「こんなところに住みたいな。」
と地区外の人も思うような所にし
その結果、人が集まり、定住する人が増え、
どの世代も生き生きと過ごせるよう**

なところだったらいいな…

第4章 将来像実現に向けて必要な取り組み

高橋地区では、検討ワークショップのなかで、将来像の実現のために必要な取り組みとして、以下のようなアイデアが出ました。

商店・買物 対策	<ul style="list-style-type: none"> • コンビニの誘致：高橋に、但東に今後も夜簡単に歩けるようなコンビニはないままで。子どもにとっても夜は家族の団らん。暗い夜は今こそ大切だと思う。 • 店を増やす（居酒屋も）
交通・ 地域の足 対策	<ul style="list-style-type: none"> • せめて土曜日にバスがあればいいと思います • バスを増やす（交通対策） • 全但バスの復活 • チクタクの運営 • 足がない人が気楽に利用できる交通手段があればなあ
歴史・文化 活用対策	<ul style="list-style-type: none"> • もっとふるさつを知る • 毎年続けるふるさと探訪。他地区の人も参加希望。どう、案内していく？ • 夜、大同窓会をする • ふるさと探訪をした後、地域の史跡などを地図に落として冊子をつくる • 出身者が里帰りするふるさと探訪 • 京街道の復元 • 地域のカルタを作る
環境・エコ 対策	<ul style="list-style-type: none"> • 平田自然村、山の勉強会 • 立木有効活用 • 雪対策（雪下ろし作業等）（ボランティア） • 国道426号の花、飾り • 源流の整備。オオサンショウウオの保全と活用
活性化拠点	<ul style="list-style-type: none"> • 高橋の人なら自由に利用できる囲炉裏のある家（小坂「なかや」高橋版） • 誰でも気軽に集まれる場所づくり、みんながあつまれる居場所 • 囲炉裏、薪ストーブ • 古民家、旅籠 • 空き家対策
定住促進 対策	<ul style="list-style-type: none"> • オシャレなスイーツカフェ（古民家を改装して作る）。オーナーを募集して永住してもらう • 若い世代の家族が永住してくれる環境づくり • 古家、空き家を活用。持ち主がOKなら、地区として移り住みたい人を案内しやすくするシステム作りをしては。アトリエ的な活用も楽しそう。 • 地域の為になるような職場を生み出す
医療・福祉 対策	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者体力づくり、住民の健康意識、寝たきり0（ゼロ）運動 • 悩みごと解決バスター • 大学病院の誘致
教育・子ども 対策	<ul style="list-style-type: none"> • 遊具がいっぱいの大きな公園（雨天でも遊べる） • 子ども園の統合。0歳児5人以下くらいになると、集団での学びの良さを保つために、例えば合橋との統合も検討すべき。保護者の意見も参考に地区として動く • 大学（サテライト）、研究所の誘致 • 子どもの遊び場（親も来る）、ソリ場（プラスチック場）冬場 • 子どもが帰りたくなる高橋、子どもが地域に残る教育

<p>観光・交流 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋の自慢できる場所を観光地にする（東中の花海道、平田子ども自然村など） ・トイレ美化、おもてなしG-men、気持ちよく ・材料持ちより料理教室。試食しながら輪を広げる ・太極拳の後でみんなが寄っている時に話し合い。これからの老後に元気でいられるようにラジオ体操の日もあつたらと思います。 ・きれいな水の流れる溪谷を利用して、ニジマスやヤマメ釣り場をつくる ・老人会が寄る行事を考えてほしい。楽しい生活がしたい ・高齢者の卓球教室。月1回でもしてほしい。輪を広げられる ・からだ塾の体操を出合まで行くが、できれば高橋公民館でしてほしい ・農道などの休憩イス（ベンチ）、久畑パークの公園化 ・校区芸能発表会、文化祭開催、ふるさと大同窓会、高橋地区の合同大秋まつり、出身者が里帰りする運動会、高橋まつりで盛り上がる、ふるさとのど自慢 ・各家庭、隣保で、地区外に生活している人を呼び込む活動、イベントを実施 ・顔見知り運動 ・ふれあい喫茶 ・超大ブランコ、アスレチック、ドッグランパーク ・各集落のカカシコンテスト、ペットコンテスト、婚活イベント ・田んぼアートの取組み ・平田地区にあるキャンプ場の活性化 ・京都方面（京阪神）観光客の集客（旬の里利用）。但東の東で最後のみやげ店
<p>特産品・ビジネス対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンソーアート ・木を使ったソリづくり ・地域の目玉（特産物、農産物）、米のブランド、自然薯づくり、放棄田を活用した高橋の特産品開発、高橋のPB作り（農産物・加工品） ・地元の特産品のインターネット販売 ・市のマスコットオオサンショウウオ「オーちゃん」の利用。シール等商品 ・地域の手づくり品を自由に販売できる直売所 ・山菜、よもぎつみ、里山のキノコ、野草 ・ピザ釜でピザパーティー♪
<p>農業対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物をつくる喜びがほしい。 ・鹿、猪の駆除を、オリの年間開放、獣害の撲滅 ・農業の後継者をつくる ・営農生産組合 ・休耕田利用 ・高齢者を生かす
<p>情報受発信 対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力を発信。不便。自給自足。温かい近所のつながり。自然。夜は暗いもの。晴耕雨読。インターネットの普及で都会とのつながりも。子どもがのびのび外で遊ぶ…。良し悪しあるが、ここが好きで引っ越してきた人もいる。そういう人のエピソード、高橋の素敵などをパンフレットやポスター、ホームページ（田舎ぐらし）でもっとアピールできそう。都会の児童館や大学、公民館に置けば目を止める人もいる。特に子育て世代、まもなく定年等の人。効率化で忘れがちなことを取り戻せる場所だとも思う。 ・登尾トンネルに便乗（1,777m）777。パワースポット ・高橋の位置表現PR。“但東の東、兵庫の鼻”等の地域ブランディング ・高橋の付く名を増やす（小学校しかない）。高橋看板を作成
<p>自立・自律したまちづくり対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「振対協」ではとっつきにくいので、サブネームを考える（振対協のネーミング）

第5章 率先して取り組む内容 （リーディング・プロジェクト）

高橋地区では、将来像の実現のために必要な様々な取り組みを考えてきました。
この地域づくり計画では、これらの取り組みの中から、

【平成 26 年度より着手する 3 つの率先重点プロジェクト】

No. 1 高橋地区大運動会 “早期に地区住民全員参加を実現！” プロジェクト

- ①住民誰もが 1 回は参加できるプログラムの設定
- ②もちまき、バザー、抽選会などの付帯イベント企画の設定
- ③送迎サービス、日程調整、徹底した周知等の全員参加のためのサービス提供

No. 2 高橋ふるさと探訪 “効果的で、持続して、魅力ある！” プロジェクト

- ①語り部育成、郷土継承の仕掛けづくり（高橋検定の実施、ふるさとかるたの製作）
- ②三世代交流、子どもの教育、郷土愛の醸成のためのプログラム設定
- ③徹底した周知による参加者確保

No. 3 高橋ふれあい市 “年に一度の自己表現の場、ちょっと儲かる！” プロジェクト

- ①事業者、団体の出品・出店による充実した商品構成（偏りの解消）
- ②オリジナル食品・加工品の発掘、販売、特産品化、ブランディング
- ③定期市としての定着、地域外からの来訪者の確保

の3つを、次年度より順次率先して取り組むプロジェクトとして採り上げました。

平成 26 年度からは、ここで検討した事業企画の内容をさらに充実させ、具体的なプロジェクト（事業）企画を立案し、体制を整えて実践していくものとします。

高橋校区大運動会～早期に地区住民全員参加実現を～ 事業企画書(案)

■事業タイトル

みんなが楽しめる運動会

■事業目的と概要

- 地域の人にたくさん来てもらう
- つながり、絆を大切に（地域内交流）

■事業コンセプト

振対協が中心となって創り上げる

（学校行事にとどまらず、今までできなかったことも、振対協として一歩ずつ実現していく）

■事業スキーム



■背景

- ・子どもが少なくなった
- ・学校中心の運動会と思っている住民が多い
- ・開催日程が農繁期と重なっている
- だから、参加者が減ってきている
- 運動会に参加する、立ち寄る（子どもたちを中心とした地区住民のための運動会、地区を盛り上げるための行事）という意識が薄れてきている

■事業収支

支出		収入
・人集め委員会	決起集会 20,000円 (1,000円×20名 自己負担)	・振対協
・PR委員会	郵送料・チラシ印刷 30,000円	・バザー
・イベント委員会	もちまき、抽選会 90,000円	・スポクラ
・競技に関わる費用	30,000円	・学校
・参加賞	50,000円	・協賛金
・その他	10,000円	
・バザー費用	60,000円	

地区のキャラクター
(ゆるキャラ)作成
共通 70万円

■実施内容(例)

- ・実況放送、案内放送の実施
- ・参加チームを変える、プログラム編成を見直す（区対抗、1区最低20人は参加できるように）、誰もが参加できるプログラム、メニューを新設定→恒例、目玉プログラムにしていく（例：ミス高橋（女装コンテスト）、ミスター高橋（男装コンテスト）、仮装大会等）
- ・高齢者も気軽に参加できる競技を設定
- ・運動会の開催案内ポスターを作成、掲示
- ・開催日は高橋の休日にして実施
- ・防災訓練と合わせて（人の確認）実施
- ・老人会とコラボして
- ・昼食を運動会会場で取る工夫（お酒もありで）
- ・おみやげ、景品の準備
- ・作品発表会、文化展の併催
- ・餅まき、フリーマーケット等のイベントを併催
- ・日程の調整（稲刈り終了後等）
- ・足の確保、送迎車の運行

高橋ふるさと探訪 ～効果、継続、魅力 up～ 事業企画書(案)

■事業タイトル

高橋ふるさと探訪 ～七十八の瞳

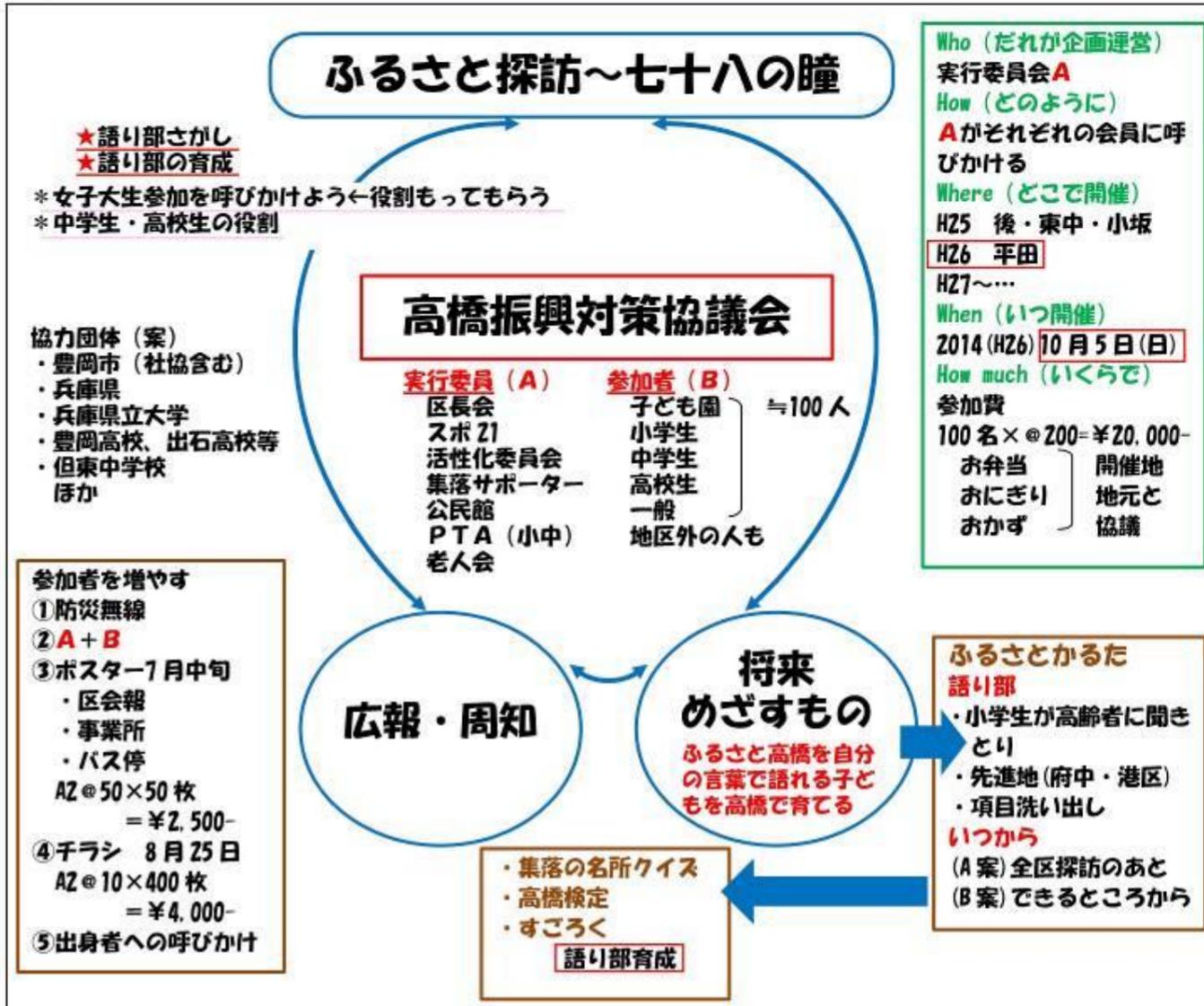
■事業目的と概要

・たかはしを知る ・語り部を探す
ふるさと高橋を自分の言葉で語れる子どもを高橋で育てるため
 →持続可能な集落(高橋)づくり ・ふるさとじまん おもてなし

■事業コンセプト

郷土愛を育む 三世交代流 楽しいイベント ⇒ 高橋の魅力発見 子育てが楽しい高橋 婚活イベント

■事業スキーム



■背景

- ・第1回(H25.10開催、小坂・東中・後)はひとまず成功したが、この後も続けていくためには、反省点も加味しながら、企画を考えていく必要がある
- ・誰もが参加しやすい内容の工夫が必要(開催回数、日程、行程等)

■事業収支

支出	収入
・広報物 ポスター¥50×50枚=¥2,500	・参加料 ¥200×100名=¥20,000
千ラシ¥10×400枚=¥4,000	・寄付、助成金 ¥20,000
・昼食代 ¥30,000	収入合計 ¥40,000
・消耗品その他 ¥3,500	
支出合計 ¥40,000	

ご当地かるた製作
100万円
(別途予算計上)

■実施内容(例)

- ・村の行事(まつり、おどろ等)と連携して老人会の参加を促進
- ・休耕地に植樹(植樹祭)を併催(桜の木を植える等)
- ・大交流ハイク(子ども、女子大生、地域若者)
- ・集落の名所クイズ(検定)
- ・チェックポイントを設定し、オリエンテーリング形式(ゲーム感覚を組み込む)
- ・実行委員会を組成し、企画運営
- ・広報、周知の徹底、強化
- ・地域カルタ作戦(ご当地カルタの製作、普及)
- ・"おもてなし"の充実、振る舞い(昼食、音楽、休憩・お茶)

高橋ふれあい市 ~“自己表現”の場で、ちょっと儲かる~ 事業企画書(案)

■事業タイトル

高橋ふれあい市をもっと面白く、充実したものに

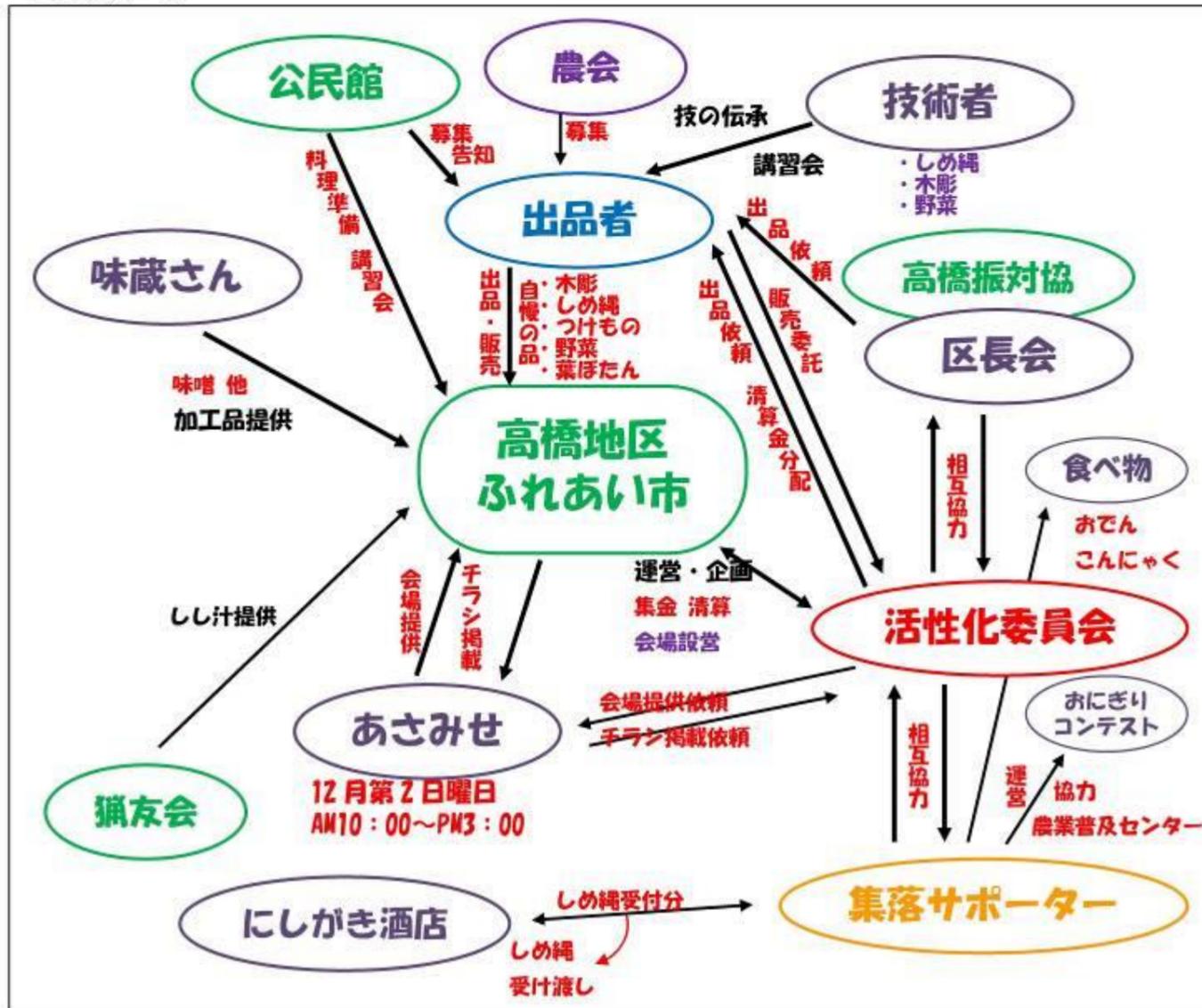
■事業目的と概要

- ・ 新たな特産品発掘、開発
- ・ 住民の自己表現の場、お披露目の場

■事業コンセプト

- ・ 誰もが参加でき、みんながちょっとずつ儲かる仕掛け
- ・ 地域外にもアピール、高橋のブランディング

■事業スキーム



■背景

- ・ 12月開催で、過去3回開催してきたが、このままで良いのか？
- ・ しめ縄が商品の目玉になっているが、これだけで魅力が維持できるか？
- ・ 住民みんなが集える場にはなっていない・・・
- ・ 高橋の新たな特産品創出に繋がっているのか・・・
- ・ 場所、開催日を含め、もっと参加しやすい方法を考えるべきでは？？

■事業収支

支出

- ・ 広報（チラシ等） ￥10,000
- ・ コンテスト賞品 ￥30,000
- ・ 消耗品その他 ￥10,000
- 支出合計 ￥50,000

収入

- ・ 出品手数料（売上¥3,000の10%想定）
¥300×1507-7=¥45,000
- ・ 振対協としての売上 ￥5,000
- 収入合計 ￥50,000

■実施内容（例）

- ・ たかはし鍋、各区のオリジナル鍋の試作、提供（各区対抗料理コンテスト、高橋版“B-1グランプリ”）
- ・ 鹿の食用（獣害対策兼ねて）、オリジナルジビエ料理の試作
- ・ お米自慢コンテストの実施
- ・ 住民の自慢の品（しめ縄）
- ・ 高橋の特産品（地元農産物の加工品、漬物、コンニャク etc）開発と販売
- ・ 自慢の野菜、自慢の物、時期の物の確保、販売
- ・ インターネットによる販売←自慢の逸品リストの作成
- ・ 子どもたちも商品を製作、出品（料理でも良い）（高橋小学校フースの設置等）

第6章 今後の進め方

高橋地区の地域づくりの全体的な方向性として、今回リーディング・プロジェクトとして取り上げた①高橋地区大運動会“早期に地区住民全員参加を実現！”プロジェクトと、今年度スタートさせた②高橋ふるさと探訪“効果的で、持続して、魅力ある！”プロジェクト、そして、これまでに4回に渡り開催してきた③高橋ふれあい市“年に一度の自己表現の場、ちょっと儲かる！”プロジェクトの立ち上げを、早期に取り組んでいく重点実施項目とします。

今後は、重点実施項目のそれぞれについて高橋振興対策協議会内に実行委員会等の企画運営チームを立ち上げ、高橋地区の全ての住民と行政、各種団体、事業者等との協働により、一体となって進めていくものとします。また、この重点実施項目以外にも優先的に必要な取り組みは随時検討していくものとします。

【次のステップとして】

- ①計画の合意形成と承認（次総会において）
- ②各事業を動かしていくための“実行委員会”の設置
→振対協構成団体、各理事の担当割り振り
- ③各実行委員会で、詳細な実行計画・事業企画書（H26 実施内容とスケジュールの確定）と予算書の作成
- ④準備実行（関係機関調整、広報PR等含む）
- ⑤開催運営

高橋振興対策協議会の“強み”を生かして、よりよい取り組みとしていきましょう。

【参考資料①—高橋地区（集落別）の人口・世帯数の推移（出典：国勢調査）】

	大字・町名	世帯数	男	女	総数(年齢)
H22 国勢調査	但東町正法寺	20	40	27	67
	但東町平田	52	83	94	177
	但東町栗尾	52	80	86	166
	但東町佐田	32	37	36	73
	但東町久畑	58	80	85	165
	但東町後	13	18	15	33
	但東町東中	23	38	35	73
	但東町小坂	21	22	27	49
	但東町大河内	26	43	45	88
	但東町薬王寺	46	42	61	103
	計	343	483	511	994
H17 国勢調査	但東町正法寺	20	37	28	65
	但東町平田	56	81	104	185
	但東町栗尾	53	92	98	190
	但東町佐田	37	47	43	90
	但東町久畑	64	100	97	197
	但東町後	11	23	15	38
	但東町東中	29	45	45	90
	但東町小坂	27	30	32	62
	但東町大河内	28	52	46	98
	但東町薬王寺	59	53	88	141
	計	384	560	596	1,156
H12 国勢調査	但東町正法寺	22	39	33	72
	但東町平田	55	102	124	226
	但東町栗尾	58	103	114	217
	但東町佐田	39	55	52	107
	但東町久畑	70	111	116	227
	但東町後	11	18	19	37
	但東町東中	29	50	53	103
	但東町小坂	29	34	45	79
	但東町大河内	29	55	52	107
	但東町薬王寺	64	63	98	161
	計	406	630	706	1,336
H7 国勢調査	但東町正法寺	25	39	41	80
	但東町平田	58	111	125	236
	但東町栗尾	63	112	120	232
	但東町佐田	41	58	61	119
	但東町久畑	71	109	113	222
	但東町後	10	19	17	36
	但東町東中	28	48	54	102
	但東町小坂	32	40	46	86
	但東町大河内	36	59	55	114
	但東町薬王寺	52	72	91	163
	計	416	667	723	1,390
H2 国勢調査	但東町正法寺	26	38	37	75
	但東町平田	66	112	135	247
	但東町栗尾	63	112	125	237
	但東町佐田	42	66	62	128
	但東町久畑	66	105	119	224
	但東町後	11	16	17	33
	但東町東中	29	50	56	106
	但東町小坂	35	47	56	103
	但東町大河内	30	51	56	107
	但東町薬王寺	59	85	98	183
	計	427	682	761	1,443

【参考資料②—高橋地区地域づくり計画検討ワークショップの開催結果】

2013/10/23 高橋地区地域づくり計画策定 第1回検討ワークショップの成果

【旗挙げアンケートの結果】

確認. 高橋の将来に向けて何かすべきだと思いますか？

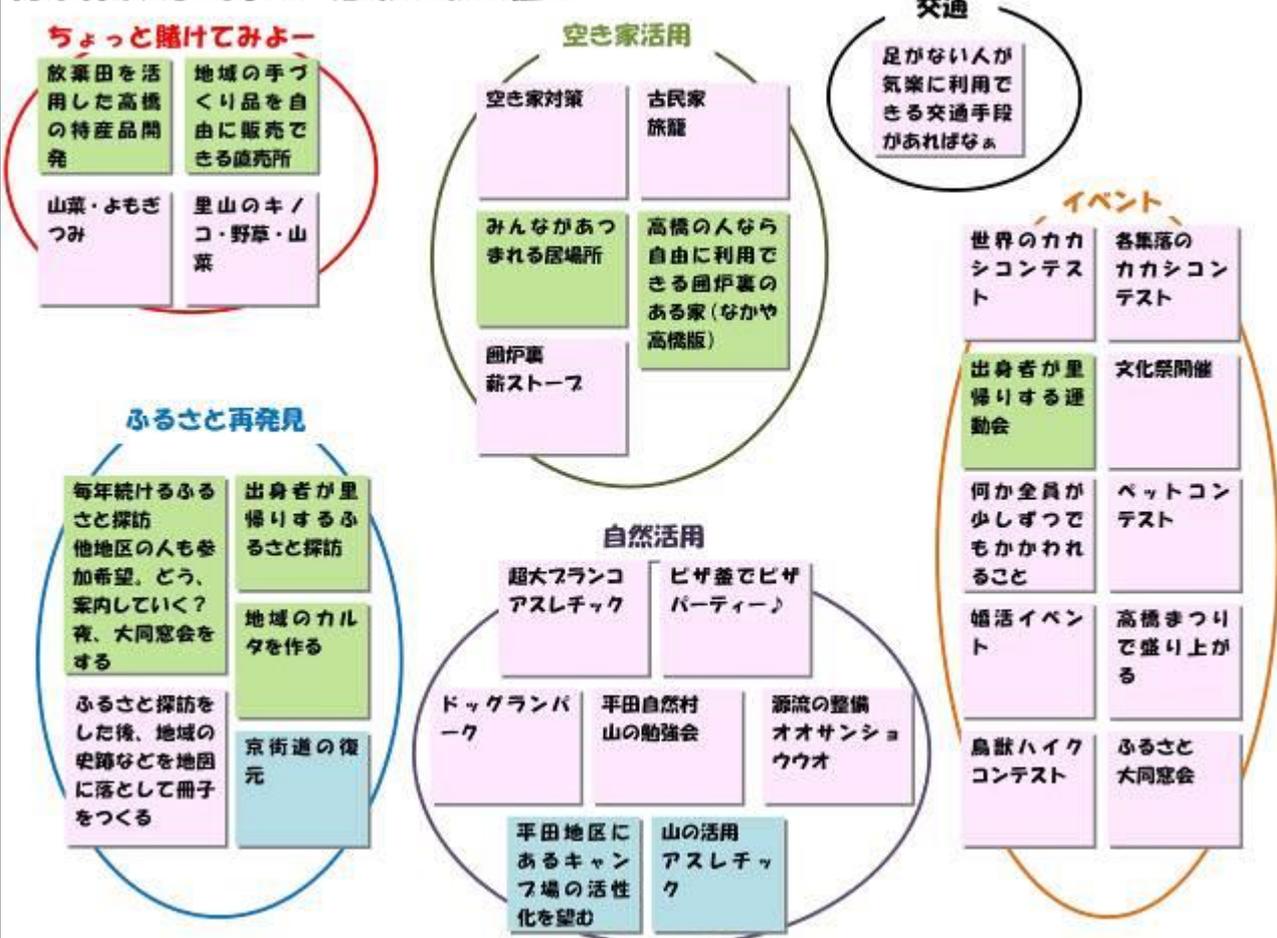
① 今すぐ すべきことがある 4	② 何かすべきだが、何をしたらよいか分からない 17	③ 別に何もしなくて 良い 2	④ 既にやっていることがある 2
--	--	---	--------------------------------------

2013/10/30 高橋地区地域づくり計画策定 第2回検討ワークショップの成果

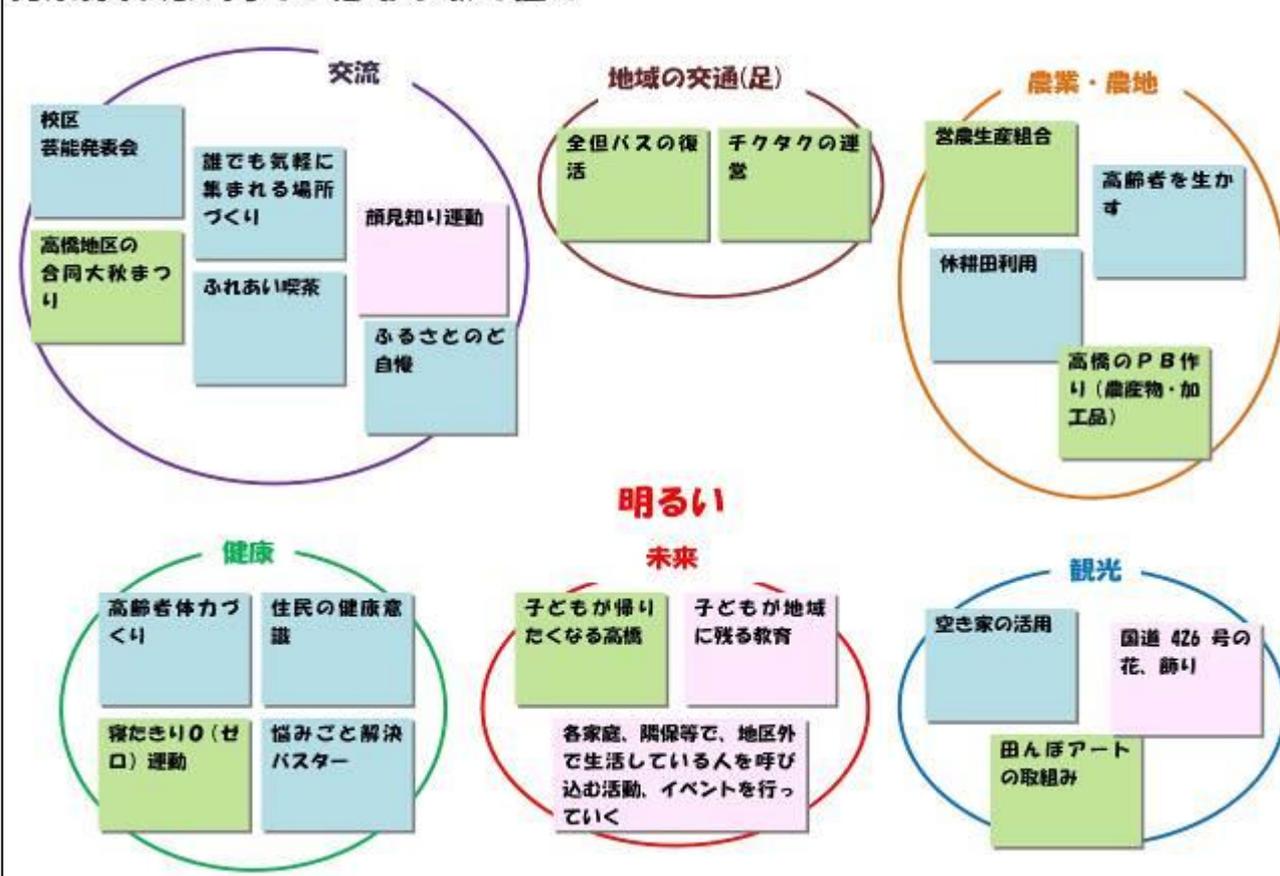
6W2Hで考える(その1) 2013.10.30 豊岡但東・高橋

Who: だれが?	What: 何を?	Where: どこで?	Why: なぜ?	How (to do): どうやって?	How much: いくらで?	When: 優先度
<ul style="list-style-type: none"> 学校 スポクラ 公民館 集落サポーター 体育委員 	高橋地区運動会	<ul style="list-style-type: none"> 企画等は学校、公民館で 会場: 小学校 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係以外を含めた地域内の世代間交流 	<ul style="list-style-type: none"> 学校-スポクラ: 企画 ⇒その後、全体会で役割分担 体育委員(集落毎)-区長による参加者募集、要請 	<ul style="list-style-type: none"> 区長会費負担金 ⇒全て県品へ スポクラ予算 	赤 ●●●●●●●●●● 青 ●●●●
<ul style="list-style-type: none"> スポクラ 公民館 活性化委 	ソーマン流し&魚つかみ	公民館	<ul style="list-style-type: none"> 地域と子ども(地域内外)(子ども50人程度)のふれあい 高齢者の楽しみ 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館が加わって7回(H19~)、それ以前はスポクラだけ(10年近く実施) スポクラ・公民館・活性化: 企画・運営 家族で参加(100名程度) 車で小学校へ 出店 ソーマン流し 	<ul style="list-style-type: none"> 収支計画(トントン)(人仕事ゼロ) ⇒参加料収入 ⇒売上収入 魚つかみ負担... ⇒止められない... ⇒お金をかけずに、健康、親睦、環境 	赤 ● 青 ●
<ul style="list-style-type: none"> スポクラ 学校 PTA 	ラジオ体操 + 地域管理活動	小学校	<ul style="list-style-type: none"> 集落ではなく小学校で、奉仕活動の支援(PTAの支援の意味も) 健康増進 			赤 ● 青 ●●●●
<ul style="list-style-type: none"> スポクラ 区長-住民へ 	チャレンジデー	<ul style="list-style-type: none"> 公民館 各自 		<ul style="list-style-type: none"> 公民館を含めて 入賞の賞品はスポクラで管理 ⇒各行事で賞品として還元 		赤 ● 青 ●
<ul style="list-style-type: none"> 活性化委 学校 集落サポーター 公民館 	地域行事カレンダー	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布(印刷発行は400部) 	<ul style="list-style-type: none"> 高橋全体の地区活動の認知、周知 	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月1回発行 サポーター A3サイズ、フルカラー 	<ul style="list-style-type: none"> 活性化委予算から印刷代1回1万×6回 今後は広告収入... 	赤 ● 青 ●●●●
<ul style="list-style-type: none"> 集落サポーター 学校(外せない) 活性化委 公民館 	ふるさとハイク(高橋ふるさと探訪)七十八の巻	<ul style="list-style-type: none"> 小坂・栗中・巻(H25) 4エリア程度が キャラバンしていき、高橋全体を回る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域再認識 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が事務局となって第1回を来箱 	<ul style="list-style-type: none"> 参加料収入 ¥200/人 ⇒茶・広報紙 集落の健康 	赤 ●●● 青 ●●●●●●●●●●
<ul style="list-style-type: none"> 活性化委 	ふれあい市(特産品開発)3回目		<ul style="list-style-type: none"> 特産品を創り上げたい 	<ul style="list-style-type: none"> 出品者(個人がほとんど) 地域内中心で 来場者も年々増 今は主催者としては、企画と場の提供のみ 	<ul style="list-style-type: none"> 出品者からのロイヤリティ(出品料) 	赤 ●●●●●● 青 ●●●●●●

将来像実現に向けて必要な取り組み



将来像実現に向けて必要な取り組み



【参考資料③】—高橋地区の子どもたち（保護者含む）からの意見

高橋地域づくり計画ワークショップ 子供たちの意見（高橋小学校）

1. 私の暮らす高橋で、こんな行事や活動をやってほしい（やりたい）！

- 1 ハロウィンパーティー&お料理。クリスマスパーティー&ケーキ作り。
- 2 ハイキング。
- 3 全員が集まって、何かすることをもっといれてほしいです。
- 4 特にないです。
- 5 中学生と遊びたい(できれば大勢)
- 6 おまつり沢山やりたい。
- 7 子ども料理教室。
- 8 どんどこまつり。
- 9 全校生でクッキング。
- 10 地区のお祭りができなくなったものもあるので、高橋みんなでお祭りがしたい。
地域の人が顔見知りになれるために、月1回土曜日に集まって何かをする(おじいちゃん、おばあちゃんでもできる事)例えばラジオ体操をするとか、学校に集まってから、ハイキングをして家の人が出て来てくだされば地域の人の事がよく知れると思います。

2. 私は、自分たちの暮らす高橋のために、こんなことならできる（できそうだ）！

- 1 ごみひろい。
- 2 わからない。
- 3 ごみひろい(クリーン作戦)などのことは休みの時にできると思います。
- 4 ゴミ拾い。
- 5 安全にする。
- 6 ごみひろいをして、高橋をきれいにする。
- 7 料理を教えられそう。
- 8 ごみをひろう。
- 9 地域の人にやさしくする。
- 10 わかりません。
1時間位学校で何かをする事ならば、どんどん参加させて頂きたいと思います。例えばおばあちゃん、お母さん、子どもに分かれて、何かを発表する、おばあちゃんの時代だと昔の遊び、その1ヶ月後お母さんの時代の電化製品の進化、その1ヶ月後に子どもが学校の様子を発表するなど。

高橋地域づくり計画ワークショップ 子供たちの意見（但東中学校）

1. 私の暮らす高橋で、こんな行事や活動をやってほしい（やりたい）！

- 1 スポーツフェスティバル的なもの。
- 2 川におちているゴミをひろったりして、自然を守る活動をしたいです。
- 3 子ども対大人のスポーツ大会～。
- 4 特にありません。
- 5 ふれあい祭りのようなみんなで楽しめることがあったらいいと思う。
- 6 地区民全員で高橋を一周する。学校での行事への全員参加。
- 7 日曜日にも但東中学校行きのバスを作ってほしい。
- 8 高橋を全国的に有名にしたい。人がたくさん集まる観光名所を作ってほしい。

2. 私は、自分たちの暮らす高橋のために、こんなことならできる（できそうだ）！

- 1 町の特産品を売る。
- 2 大人になってここに残って人口を増やす。
- 3 ゴミ拾い。東日本への募金。
- 4 廃品回収など。
- 5 行事に積極的に参加する。
- 6 お年寄りの片付け。地域行事のお手伝い。行事への積極的な参加。
- 7 行事の参加。クリーン作戦(ごみ拾い)。
- 8 お年寄りの家に手伝いに行く(力仕事や雪かき等)。
- 9 手伝い。

高橋地域づくり計画ワークショップ 高橋小学校PTA意見

1. 私の暮らす高橋で、こんな行事や活動をやってほしい（やりたい）！

- 1 高橋街道、フラワーアート、田んぼアートによる各区連携事業（四季型）
- 2 具体的には説明できませんが、高小のグラウンドが芝生化されたので大人から子供まで地区全体が集まって何かができれば楽しいのではないかと思います。
- 3 里山や林道を子供と自転車で走りたい。
- 4 特にありません。
- 5 沿道を夜ライトアップする。
- 6 誰でも気軽に参加できる行事をやりたいです。
- 7 都会の人との交流。ターンを希望する方々との交流など田舎暮らしを希望する人を歓迎し受け入れたい。

2. 私は、自分たちの暮らす高橋のために、こんなことならできる（できそうだ）！

- 1 4月にクリーン作戦がありますが、その活動をできれば、毎月1度くらいにして高橋をもっときれいにする。
- 2 特にありません。
- 3 地産地消（少々高くても地元で買う）
- 4 地域で参加にイベントに参加すること。
- 5 ホームステイとして都会の方を受け入れる。

3. その他ご意見があれば、お願いします

- 1 若者から高齢者が働ける雇用の場の確保。
- 2 小学校を残してほしい（できるだけ）学校がなくなると地域の活気がなくなります。子供たちが生き生きと過ごせる町でありたいと思います。
- 3 特にありません。

高橋地域づくり計画ワークショップ 但東中学校PTA意見

1. 私の暮らす高橋で、こんな行事や活動をやってほしい（やりたい）！

- 1 月に1～2回程度の体力作り（誰でもできる簡単なこと）。ハンドベルに挑戦してみたい。
- 2 フリーマーケットのような事。ミニ文化展・文化祭。
- 3 フリーマーケット。
- 4 今、思いつく事は、特にありません。
- 5 いつも高橋小学校の運動会の後に地区の運動会がありますが、もっと小さな子供からお年寄りまで楽しんで参加出来るような運動会にしたいのではないのでしょうか。
- 6 特に思いつくことがありません。
- 7 スタンプラリー。

2. 私は、自分たちの暮らす高橋のために、こんなことならできる（できそうだ）！

- 1 行事や活動のボランティア。
- 2 今は、特にありません。
- 3 例えば1人暮らしとか車の運転をしないお年寄りの方の送迎とか出来るかもしれないです。食料品の買物とかついていって荷物を持ってあげるとかも出来そうです。
- 4 指示していただければ協力させていただくことは可能です。
- 5 道案内、交通整理等。

3. その他ご意見があれば、お願いします

- 多く計画されている行事になかなか参加できないのが現実です。一人ではなかなか・・・という所がありなんとか多くの参加で行けたらと思います。毎日をいかに有効に楽しく過ごせるか自分自身の課題だと思っています。役員のみなさまには本当にご苦労さまですし大変だと思えます。できる限りのことは協力していこうと思います。
- 1 高校へ通学バスの便が便利になれば良いなあとと思います。小さい店や病院など少しでもあれば良いなあとと思いますがなかなか難しい事だと思います。
 - 2 子供から高齢者まで幅広い年齢層で楽しめるような事をしたいです。

参考資料④—『高橋地区地域づくり計画』の体系（計画概要）

主な取り組み内容と重点プロジェクト

高橋地区の現状

- ①神戸から約2時間の距離
- ②交通の軸となる国道426号が縦断
- ③但東シルク温泉やまびこ、シルクドーム、兵庫県子ども自然村
- ④旬の里のぼりお、味蔵たんとう、あさみせ、百笑館
- ⑤高橋小学校、高橋幼稚園・保育園（認定子ども園）
- ⑥大生部兵主神社、新宮神社、楽音寺、乗専寺などの歴史・文化資源
- ⑦出石川の源流
- ⑧江笠山の眺望、森林、田園（棚田）の景観
- ⑨地域全体では高齢化、少子化が進行
- ⑩農林業は、高齢化と後継者不足による森林の荒廃や遊休農地の増加

高橋地区が目標とする4つの将来像

私たちが暮らす“高橋地区”は
集落では………都会からの移住者やU・J・Iターン者が多く、空き家はあきません。
小学校では………子どもが120人を超えてにぎやかです。
田畑では………荒廃農地がなく、鹿や猪もいなくて、高齢者が楽しく作物や花を作っています。
国道沿いでは………あちこちに直売所や見処、食処があり、素通りする車がありません。
人の集まる場所では…不平不満を口にせず、助け合い楽しく穏やかに暮らせるよう
 などところだったらいいな…

私たちが暮らす“高橋地区”は
キリが少なく、太陽の恵みをいっぱい受け、自然豊かで、若者たちや家族が、健康で元気よく住め、農産物などP・B商品があり、人と人との交流も盛ん
 などところだったらいいな…

私たちが暮らす“高橋地区”は
職場がたくさんできて、安定収入があり若者が高橋に残り、子どもが多く有り、高橋全体の活気ができる
 などところだったらいいな…

私たちが暮らす“高橋地区”は
地域の住民が元気で住みやすさ、居心地の良さをアピールして「こんなところに住みたいな。」と地区外の人にも思うような所にしその結果、人が集まり、定住する人が増え、どの世代も生き生きとくらせるよう
 などところだったらいいな…

豊岡市総合計画（後期基本計画）

【基本理念—いのちへの共感】

- 命は限られている ■命はつながっている
- 命は支え合っている

【将来像とキャッチフレーズ】

「コウノトリ悠々と舞う ふるさと」

但東地域の「地域づくりに向けた基本方針」

- 『豊かな自然・風土に向き合い、人々が育んだ恵みを生かし、訪れる人が“温もり”を実感できる地域づくりを進めます。』
- ・グリーンツーリズム事業
 - ・生きる力を育む教育の推進
 - ・自然を生かした地域づくり事業
 - ・文化施設を活用した交流の推進

子どもたち（高橋の小学生、中学生と保護者）の意見

- 地域でこんな取り組みを進めてほしい！ 進めるべきだ！！
- ・全員が集まって、何かすることをもっといれてほしいです。
- ・全校生でクッキング。子ども料理教室。
- ・地区のお祭りができなくなったものもあるので、高橋みんなでお祭りがしたい。おまつり沢山やりたい。
- ・スポーツフェスティバル的なもの。
- ・里山や林道をお子と自転車で走りたい。
- ・川におちているゴミをひろったりして、自然を守る活動をしたいです。クリーン作戦（ごみ拾い）。
- ・フリーマーケットのような事。ミニ文化展・文化祭。
- 私はこんなことならできる、関わられる！ 手伝える！！
- ・町の特産品を売る。
- ・お年寄りのお手伝い。地域行事のお手伝い。行事への積極的な参加。
- ・地域でイベントに参加すること。
- ・ごみひろいをして、高橋をきれいにする。
- ・地域の人にやさしくする。
- ・地産地消（少々高くても地元で買う）
- ・行事や活動のボランティア。道案内、交通整理等。
- ・ホームステイとして都会の方を受け入れる。

地域づくりの主要課題

①少子・高齢化社会への対応

②地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取り組みの促進

③地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み

④美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実

⑤地域産業の活性化

⑥地域づくり活動の財源確保と実行体制の早期確立

⑦地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上

- (1) 交通・地域の足対策
 - ①バスの増便（交通対策）（土曜日にバス）
 - ②チクタクの運営（足がない人が気楽に利用できる交通手段があれば）
- (2) 歴史・文化活用対策
 - ①ふるさと探訪の継続。他地区の人参加募集。大同窓会を実施（出身者が里帰りするふるさと探訪）
 - ②地域の史跡などを地図に落としとして冊子を作成
- (3) 観光・（地域内・地域外）交流対策
 - ①高橋地区の合同大秋まつり、校区芸能発表会、文化祭開催、高橋まつり
 - ②老人会が寄る行事を考えてほしい。楽しい生活がしたい
 - ③出身者が里帰りする運動会、ふるさと大同窓会の実施
 - ④ふれあい喫茶の開設
 - ⑤農道などに休憩イス（ベンチ）設置、久畑パーキングの公園化⇒整備
- (4) 定住促進・空き家対策
 - ①若い世代の家族が永住してくれる環境づくり
 - ②古家、空き家を活用。地区として移住希望者を案内するシステムづくり
 - ③オシャレなスイーツカフェ（古民家を改装）。オーナーを募集し永住
- (5) 特産品・ビジネス（農業、コミュニティ・ビジネス）対策
 - ①地域の目玉農産物・加工品・高橋PBの生産、米ブランド化、自然薯づくり
 - ②農作物をつくる喜びがほしい。鹿、猪の駆除を（獣害の撲滅）
 - ③営農生産組合（法人等）の設置
 - ④地元の特産品のインターネット販売
 - ⑤マスコットオオサンショウウオ「オーちゃん」の利用。シール等商品
 - ⑥地域のカルタの製作・普及
- (6) 活性化拠点、商店・買物対策
 - ①誰でも気軽に集まれる場所づくり（古民家、旅籠）
 - ②平田にある子ども自然村（キャンプ場）の活用、活性化
 - ③コンビニの誘致、店を増やす（居酒屋も）
- (7) 教育・子ども対策、健康・福祉対策
 - ①子どもの遊び場（親も来る）、ソリ場（プラスチック場）冬場
 - ②子どもが帰りたくなる高橋、子どもが地域に残る教育
 - ③高齢者体力づくり、寝たきり0（ゼロ）運動、太極拳の後でみんなが寄り添っている時に語り、老後も元気でいられるようにラジオ体操の日を設定
- (8) 情報発信対策

高橋の位置表現PR。“但東の東”、“兵庫の鼻”等のブランディング
- (9) 自立・自律したまちづくり対策

「振対協」ではとっつきにくいので、サブネームを。（振対協のネーミング）

- 【平成26年度より着手する3つの率先重点プロジェクト】
- No.1 高橋地区大運動会 “早期に地区住民全員参加を実現！”プロジェクト
- ①住民誰もが1回は参加できるプログラムの設定
 - ②もちまき、バザー、抽選会などの付帯イベント企画の設定
 - ③送迎サービス、日程調整、徹底した周知等の全員参加のためのサービス提供
- No.2 高橋ふるさと探訪 “効果的で、持続して、魅力ある！”プロジェクト
- ①語り部育成、郷土継承の仕掛けづくり（高橋検定の実施、ふるさとかるたの製作）
 - ②三世代交流、子どもの教育、郷土愛の醸成のためのプログラム設定
 - ③徹底した周知による参加者確保
- No.3 高橋ふれあい市 “年に一度の自己表現の場、ちょっと儲かる！”プロジェクト
- ①事業者、団体の出品・出店による充実した商品構成（偏りの解消）
 - ②オリジナル食品・加工品の発掘、販売、特産品化、ブランディング
 - ③定期市としての定着、地域外からの来訪者の確保